



# Treasure Academy

## Regular Program

CDP Project Leader 養成コース  
CDP Engineer 養成コース

# Index

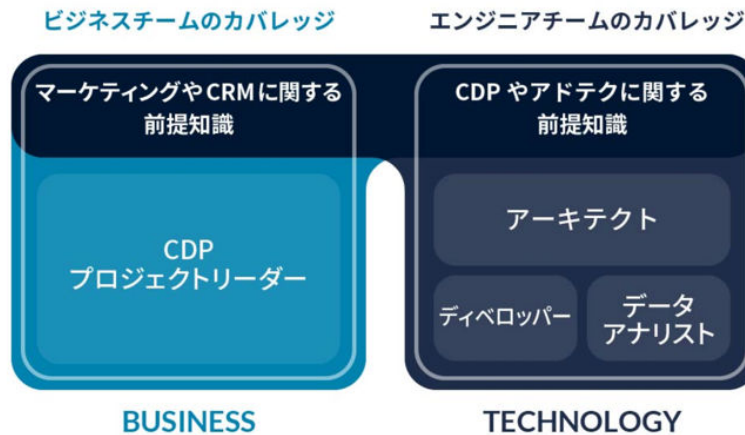
コースタイトル	期間	ページ番号
レギュラープログラム概要	-	4
CDP Project Leader 養成コース		6
CDP Engineer 養成コース		8

# レギュラープログラム

## CDP のデータ利活用において、ビジネス・マーケ視点とテクノロジー視点をつなぐπ型人才を育成

CDP を用いてデータを利活用する際、ビジネス・マーケ部門とエンジニア部門が双方のスキルや理解、言語に乖離があり、当初想定していた通りにプロジェクトが推進できないことがよくあります。また、CDP 特有のプロジェクトの進め方の問題や、CDP のスキル習得に時間がかかることも課題となっていました。

そこでトレジャーアカデミーでは、CDP プロジェクトを成功させるために「技術のわかるプロマネ」と「ビジネス理解のあるエンジニア」を育成し、2種類のスキルを持つπ型人才を揃えるためのプログラムを用意しました。



## レギュラープログラムのカリキュラム全体像

レギュラープログラムは、以下の2つのコースから構成されています。

- CDP Project Leader 養成コース（実務プロセス）
- CDP Engineer 養成コース（手法）

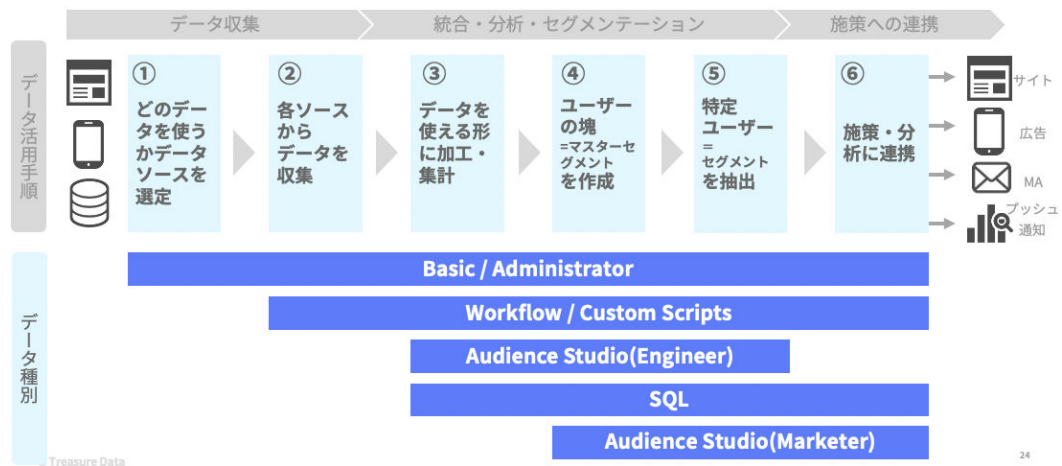


「CDP Project Leader 養成コース」では CDP プロジェクトリーダーに必要な「実務プロセス」を学びます。トレジャーデータのコンサルタントが、これまで形式化されてこなかった CDP 導入やノウハウを体系化し、CDP プロジェクトを成功に導くステークホルダー管理から人材育成、CDP 実装時の注意などを体系的に学べるカリキュラムとして開発しました。また、顧客データを扱う上でますます重要となるプライバシー保護にも注力し、大手弁護士事務所と提携することで実務者にも体系的かつ正確な法律知識が身につきます。

## CDP Project Leader養成コースにおける全体像



「CDP Engineer 育成コース」では、エンジニアが理解する必要がある Treasure Data CDP の「手法」を学ぶカリキュラムから構成されています。基本知識から SQL の理解、ワークフローや Custom Scripts、オーディエンススタジオなど、Treasure Data CDP の各機能を基礎から網羅的に学習できます。受講者は、実際にサンプルデータを扱いながらハンズオン形式で CDP を操作します。



どちらのコースにも講義用にサンプルデータを含んだ CDP のデモアカウントが発行され、演習の際に利用できます。

### 修了資格証

各コースの科目には修了試験が用意されています。各講義への出席と必要な科目の修了試験に合格することで、以下の資格証が発行されます。



※資格証の有効期限は2年間です

## CDP Project Leader/Engineer コースのコンテンツ内訳

レギュラープログラムは以下のコンテンツから構成されており、それぞれ必須科目と任意の科目、聴講可能な科目があります。

No	科目	講義時間の目安(h)	Engineer Course	Project Leader Course	科目修了試験	備考
1	はじめてのCDP	2.0	任意	任意	なし	動画のみ
2	Basic	3.5	必須	必須	あり	
3	Adminitrator	3.0	必須	-	あり	
4	SQL 基礎1	3.0	必須	必須	あり	動画あり
5	SQL 基礎2	3.0	必須	-	あり	
6	SQL 基礎3	3.0	必須	-	あり	
7	Treasure Workflow/Custom Scripts概論	3.0	必須	-	あり	
8	Treasure Workflow演習	3.0	任意	-	あり	修了認定には必要
9	Custom Scripts演習	3.0	任意	-	あり	修了認定には必要
10	Audience Studio	4.0	必須	必須	あり	
11	Project Leader Session 1: 重要要素と課題の把握・理解	1.5	聴講可	必須	なし	講義は動画で提供
12	Project Leader Session 2: 構想・要求定義	1.0	聴講可	必須	なし	講義は動画で提供
13	Project Leader Session 3: CDP基盤設計パート	1.0	聴講可	必須	なし	講義は動画で提供
14	Project Leader Session 4: CDP基盤実装パート	1.0	聴講可	必須	なし	講義は動画で提供
15	Project Leader Session 5: 施策活用パート (可視化・分析)	1.0	聴講可	必須	なし	講義は動画で提供
16	Project Leader Session 6: 施策活用パート (セグメント基盤)	1.0	聴講可	必須	なし	講義は動画で提供
17	リーガル 基礎編	1.0	視聴可	必須	なし	動画のみ
18	リーガル 応用編	1.0	視聴可	必須	なし	動画のみ
19	リーガル 実践編①: データマッピング	2.5	-	必須	なし	
20	リーガル 実践編②: プライバシーポリシー作成	2.5	-	必須	なし	

## 販売形式

各コースに必要なチケットを事前にご購入いただきます。詳細は営業担当までお問い合わせください。

- ベーシックプラン (チケット 10 枚 / \$30,000) --- Project Leader 2 名、Engineer4 名育成の場合
- 参考: Project Leader1 名 (チケット 1 枚 / \$3,000)、Engineer1 名 (チケット 2 枚 / \$6,000)

## 受講方法

一部の科目を除いて講義はオンライン形式で提供します。都合の良い日程に開催される講義にご登録いただき、講義当日は Zoom を使用しオンラインで受講していただきます。Project Leader Session はオンデマンドの動画を視聴していただく形式です。また、修了試験もオンライン形式で提供します。

## CDP プロジェクトリーダー養成コース

主にビジネス領域関わるプロジェクト設計、管理を行うプロジェクトリーダー、マーケターなどを対象に、Treasure Data CDP 全体の理解からプロジェクト推進に必要な情報を理解し、全体コントロールを図ることを目指します。また、顧客データを扱う上で重要な、個人情報保護法やプライバシーポリシーについても学びます。Project Leader Session 1-6 はオンデマンド（動画）形式で提供します。修了試験に合格すると認定証が付与されます。

## コースの概要

一部のコースはエンジニアコースと共通です。

- Treasure Data CDP 全体を理解する
- SQL が使えるようになるために基本的な構文を理解する
- オーディエンススタジオの概要を理解する
- プロジェクトリーダーとして、CDP プロジェクトにおける構想、要求定義プロセスを理解する
- データ供給元、および顧客やエンジニアとコミュニケーションを取るために必要な設計・実装プロセスを理解する
- CDP 導入後の施策運用プロセスを理解する
- リーガルの観点からプライバシー保護に関する知識を身につける

## 前提条件

どなたでも受講いただけますが、無償コース（はじめての CDP）を事前に受講しておくことをお勧めします。

## コースの内容

### 1. Basic

- CDP とは何か
- Treasure Data CDP へのアクセス
- データベースとテーブル
- データインポート方法
- データ加工と分析、およびエクスポート

### 2. SQL 基礎編 1

- SELECT による「単純」抽出
- WHERE による「条件」抽出
- IF, CASE
- 集約関数
- 複数のテーブルを結合する (JOIN, UNION) 概要編

### 3. Audience Studio

- CDP における立ち位置を理解する
- Audience Studio 機能紹介
- 演習 1. セグメント作成
- 演習 2. Predictive Scoring

### 4. Project Leader Session1&2

- Session1: 重要要素と課題の把握・理解
- Session2: CDP 構想・要求定義

### 5. Project Leader Session3&4

- Session3: CDP 基盤設計パート
- Session4: CDP 基盤実装パート 構想・要求定義

### 6. Project Leader Session5&6

- Session5: 施策活用パート（可視化・分析）
- Session6: 施策活用パート（セグメント基盤）

### 7. リーガル基本編（動画）

### 8. リーガル応用編（動画）

### 9. リーガルレクチャー編

- 基本編
- 応用編

### 10. リーガルレクチャー編

- データマッピング作成
- プライバシーポリシー作成

## CDP エンジニア養成コース

主に CDP 基盤を構築、運用するエンジニアを対象に、Treasure Data CDP の理解からデータ取得、加工・活用、外部施策ツールとの連携など、CDP エンジニアが必要となる機能を基礎から網羅的に学習します。講義に加え、ハンズオン演習を通して理解を深めます。修了試験に合格すると認定証が付与されます。

## コースの概要

プロジェクトリーダーコースの一部のコースも聴講可能です

- Treasure Data CDP 全体を理解する
- Treasure Data CDP に格納されたデータを扱うため、SQL が使えるようになる
- Treasure Workflow と Custom Scripts を理解し、データ取得や加工の自動化、高度な処理方法を学ぶ
- オーディエンススタジオの概要を理解する
- (聴講可能) プロジェクトリーダーコースの科目を受講することで、CDP プロジェクトが円滑に進められるようになる

## 前提条件

エンジニアの方。無償コース (はじめての CDP) を事前に受講しておくことをお勧めします。

## コースの内容

### 1. Basic

- CDP とは何か
- Treasure Data CDP へのアクセス
- データベースとテーブル
- データインポート方法
- データ加工と分析、およびエクスポート

### 2. SQL 基礎編 1

- SELECT による「単純」抽出
- WHERE による「条件」抽出
- IF, CASE
- 集約関数
- 複数のテーブルを結合する (JOIN, UNION) 概要編

### 3. SQL 基礎編 2

- さまざまな JOIN の挙動を理解しよう
- WITH を使いこなそう
- TD 独自の Time, Date 関数 (UDF)
- CREATE TABLE AS

### 4. SQL 基礎編 3

- Window 関数
- 文字列関数、正規表現
- CROSS JOIN UNNEST

### 5. Audience Studio

- CDP における立ち位置を理解する
- Audience Studio 機能紹介
- 演習 1. セグメント作成
- 演習 2. Predictive Scoring

### 6. Workflow・Custom Scripts 概論

- Workflow とは
- Workflow の記法
- 演習: はじめての Workflow
- Custom Scripts とは / ユースケース
- 演習: はじめての Custom Scripts

## 7. Treasure Workflow

- ワークフロー概論の復習
- セッション、アテンプト、シークレットの理解
- 演習：データロード
- 変数活用
- JavaScript の活用
- エラーハンドリング
- 分岐処理・繰り返し処理
- ワークフローの各種上限
- その他、ワークフローの記述方法詳細

## 8. Custom Scripts

- Custom Scripts を使ったワークフロー開発の流れ
- 演習：TD のテーブルを Python で読み込もう
- 演習：TD のテーブルに Python で書き込もう

- 演習：TD のデータを集計して書き込みするタスクを作成してみよう
- オプション課題1：外部の RSS を使ってデータを TD に取り込もう
- オプション課題2：機械学習を使って時系列データの予測を使用

## 9. Administrator

- Treasure Data CDP の管理
- ユーザー管理
- データセキュリティ管理
- システムリソース管理

## 10. (聴講可) Project Leader Session 1~6

## 11. (聴講可) リーガル基本編、リーガル応用編

---

コースの概要は、技術の進歩や、製品の変化に応じて変更されることがあります。特定の目的やテーマについてのご質問や確認は、トレジャーアカデミー事務局 ([jp-training-academy@treasure-data.com](mailto:jp-training-academy@treasure-data.com))までお問い合わせください。